



綱引き競技のようす



「倉岳音頭」を踊る参加者



倉岳町民体育祭

倉岳

町民の団結と融和を深める

町内15地区の対抗による「倉岳町民体育祭」が10月10日、倉岳総合グラウンドで開催され、町民約1,300人が参加しました。この日は、倉岳小学校・鼓笛隊の演奏で入場行進を行ったあと、棚底3区の中上慎哉君と藤本美咲さんが、力強く選手宣誓。その後、綱引きや縄跳び、総力リレーなどの競技が行われ、選手たちは熱戦を繰り広げていました。また、開催40回の節目を記念して、伝統の倉岳音頭も実施。参加者の輪がグラウンドいっぱいに広がり、町民の団結と融和を深めました。

市内の中学3年生が硬式野球の練習

本渡・有明

硬式野球の感覚をつかめ！

9月から12月までの毎週土・日曜日に、市内各中学校の3年生を対象に、硬式野球の指導教室が開かれています。これは、中学生が高校へ進学後、スムーズに硬式野球に取り組めるように、天草郡市中学生硬式野球倶楽部が3年前から市内各地のグラウンドなどで開催しているもの。10月2日には広瀬公園野球場で練習を行ったほか、同16日には天草東高校グラウンドで熊本市内のチームと練習試合を実施。生徒は、「技術面は負けていないと感じた」と話していました。同倶楽部の江崎憲二さんは、「天草にある高校が、3年以内に甲子園で試合をする日が必ず来る」と力強く語っていました。



▲熱戦を繰り広げた練習試合



◀コーチの指導を熱心に聞く生徒たち

天草西海岸陶芸まつり

天草

天草陶磁器を堪能！

10月7日から11日まで、「天草西海岸陶芸まつり」が、天草町と天草郡苓北町にある11窯元で開催されました。これは、同町内の窯元などで作る天草陶石研究開発推進協議会が毎年開いているもので、今年で22回目。各会場には、上品な白磁や温かみのある焼き物のほか、天草陶石の素材をいかした石材などを展示・販売。来場者は、各窯元特有の焼き物を手に取り、真剣なまなざしで品定めしながら、国の伝統的工芸品である天草陶磁器の魅力を堪能していました。



▲お気に入りの陶磁器を探す来場者



▲水鉄砲作りを教えてもらう児童

御所浦北小学校・祖父母学級

御所浦

おじいちゃん、おばあちゃん、とても楽しかったよ！

10月15日、御所浦北小学校で「祖父母学級」が開かれました。これは、祖父母や地域のお年寄りとの触れ合いを目的に毎年行われているもので、同校の児童や祖父母など65人が参加しました。催しでは、班に分かれてそれぞれに竹馬や竹とんぼ、水鉄砲作りのほか、小麦粉を使った“したご”やイモのツルを使った“つるきんぴら”作り、お手玉遊びなどを実施。子どもたちは、おじいちゃんやおばあちゃんからの手ほどきを受けながら、昔懐かしい遊びや料理作りを楽しんでいました。

「アブラすまし」グッズ販売中

栖本

栖本オリジナル商品第8弾!!

栖本まちづくり協議会では、9月15日から栖本オリジナル商品の第8弾として、「アブラすまし」グッズを販売しています。この商品は、栖本にいたとされるよう怪で、地元ではカタシ（ヤブツバキ）の実を絞る油づくりの名人として祭られている、“油すまし”にちなんで開発したものです。油のしずくをイメージした天草陶石製のキャラクターを、キーホルダーとストラップにしました。現在、栖本温泉センターなどで販売中。詳細は、同協議会事務局（栖本支所・総務振興課内）☎0963111へお尋ねください。



▲「アブラすまし」のキーホルダーとストラップは、いずれも1個500円



▲芳證寺で熱心にガイドの説明を聞く生徒たち

修学旅行生による御領町並み散策

五和

鈴木重成公ゆかりの御領を歩く

10月8日、愛知県立知立東高校の生徒27人が、修学旅行の班別体験学習で、御領の歴史や文化をたどる町並み散策を行いました。修学旅行生が散策に訪れたのは、今回が初めて。散策では、地元のボランティアガイドが、約9万年前の阿蘇山の火砕流でできたといわれている凝灰岩“御領石”や石工の技術などを紹介したほか、芳證寺^{ほうしやうじ}を訪問。ガイドからは、同寺が愛知県出身の鈴木重成公の父母の菩提寺であることなどが話され、学生たちは興味深く聞き入っていました。